

▼デュピクセント皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】デュピルマブ（遺伝子組換え） Dupilumab（Genetical Recombination） 【分類】ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体

【単位】▼300mg/シリンジ・ペン [2mL]

【常用量】

■アトピー性皮膚炎：初回600mg、その後2週間間隔で1回300mg [16週までに効果判定]

■気管支喘息：初回600mg、その後2週間間隔で1回300mg

■鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎：1回300mgを2週間隔（症状安定後には4週間間隔可）

【用法】皮下注 [投与前に45分以上かけて室温に戻す]

同一箇所へ繰り返し注射することは避ける

【透析患者への投与方法】常用量（5）

【保存期CKD患者への投与方法】常用量（5）

CCr 50 まではPKに影響しないことを確認（1）

【特徴】IL-4、IL-13 [Type 2 サイトカイン] 受容体の複合体が共有しているIL-4受容体 α サブユニットに特異的に結合してシグナル伝達を阻害するIgG4モノクローナル抗体

【主な副作用・毒性】注射部位反応、頭痛、発熱、眼のかゆみ、好酸球増多など

【安全性に関する情報】

【F】61～64% [sc]（1）

【tmax】

【代謝】イムノグロブリンの代謝経路をたどると推定（1）

【排泄】分解されてペプチド、アミノ酸となり処理されると推定（1）

【t1/2】5～9日（1）

【蛋白結合率】該当しない（1）

【Vd】4.6L/body（1）

【MW】15.2万

【透析性】除去されない（5）

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20210407

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。